

第39回

全国青年保育者会議

静岡大会

H29/9/6水・7木・8金

ホテルアソシア静岡 <静岡県静岡市葵区黒金町56>

開催要項・参加申し込みのご案内



主催/日本保育協会青年部 主管/日本保育協会静岡県支部青年部

後援/厚生労働省 日本保育協会 静岡県 静岡市 静岡県保育所連合会

1. 開催趣旨

大会テーマ

「世界の宝を守ろう。」 ～ふじのくにで目指す教育・保育の頂～

少子化と待機児童の増加という相反する現象が同時に深刻な社会問題となり、子どもと家庭を取り巻く社会情勢はますます複雑な様相を呈しています。多様化する女性の働き方や都市化に伴う家庭と社会とのつながりの希薄化。経済性や効率性を重視した価値の広がり子育てに新たなカタチをもたらしていきます。抗うことの出来ない時代の潮流の中で、今、教育・保育の質が改めて問われています。

平成27年度には、子ども子育て支援新制度がスタートし、平成30年度からは新たな保育所保育指針及び幼保連携型認定こども園教育・保育要領に基づいた教育・保育が実施されます。新しい保育の始まりが、子ども子育て世代を本当の意味で豊かにする一助となるよう、私たち保育者はこれからの時代を担う子ども達の幸せ、その家庭及び地域の子育て家庭の支援をしっかりと見据えて教育・保育に臨んでいかなければなりません。

標高3000メートルの南アルプスから水深2500メートルの駿河湾を抱く自然豊かな静岡の地で、共に日本の名峰・富士山を超える教育・保育の高みを目指しましょう。

第39回全国青年保育者会議 静岡大会 実行委員会
実行委員長 太田鶴俊彦 静岡大会実行委員会 一同

2. 講演内容

【初日】9月6日(水)

受付	12:30～13:30
開会式	13:30～14:10
行政説明	14:20～15:10
基調講演Ⅰ	15:30～17:00
演題	「これからの教育・保育について」～応答的保育と教育を考える～
講師	白梅学園大学学長・東京大学名誉教授 汐見稔幸氏
講師	聖隷クリストファー大学社会福祉学部こども教育福祉学科 助教 細田直哉氏
情報交換会	18:30～20:30

【2日目】9月7日(木)

受付	8:30～9:00
本部報告	9:00～9:30
基調講演Ⅱ	9:45～12:00
演題	「保育の質を高める」～福祉と教育の専門職としての関り～
講師	東洋大学ライフデザイン学部生活支援学科 准教授 高山静子氏
講師	一般社団法人 G3保育環境研究会
昼食・休憩	12:00～13:00
分科会討議	13:00～17:00

【3日目】9月8日(金)

受付	9:00～9:30
分科会報告	9:30～10:00
記念講演	10:00～11:30
演題	「幸せはいつも自分でつかむ」
講師	岩崎恭子氏
閉会式	11:45～12:15

3. 講演講師紹介

1日目

基調講演I / 9月6日 15:30~17:00

演 題

「これからの教育・保育について」～応答的保育と教育を考える～

講 師



白梅学園大学学長・東京大学名誉教授
汐見稔幸氏

1947年 大阪府生まれ。東京大学教育学部卒、同大学院博士課程修了。東京大学名誉教授・白梅学園大学学長。

専門は教育学、教育人間学、育児学。育児学や保育学を総合的な人間学と考えていて、ここに少しでも学問の光を注ぎたいと願っている。保育雑誌『エデュカーレ』の責任編集者でもある。

著書に『男の子のからだとココロの育て方』（赤ちゃんとママ社）『「どうしてそうなの？」と感じたときに読む本』（PHP研究所）他。



聖隷クリストファー大学社会福祉学部こども教育福祉学科 助教
細田直哉氏

東京大学文学部哲学科卒業。東京大学大学院教育学研究科修了。小中学校教師、農業研修生、森のようちえんの理事長などを経て、現在、聖隷クリストファー大学社会福祉学部こども教育福祉学科助教。人が環境との相互作用によって人になる過程を心理学的に解明し、人の育ちを支える環境の条件を探求することが研究テーマ。専門は教育人間学、生態心理学。◆主要訳書に『アフォーダンスの心理学』（新曜社）など。

2日目

基調講演Ⅰ／9月7日 9:45～12:00

演 題

「保育の質を高める」～福祉と教育の専門職としての関わり～

講 師



東洋大学ライフデザイン学部生活支援学科 准教授
高山静子氏

一般社団法人 G3保育環境研究会

保育と子育て支援の現場を経験し、平成20年より保育者の養成と研究に専念。平成25年4月より現職。九州大学大学院人間環境学府単位満期退学。教育学(博士)。著書に『環境構成の理論と実践』(エイデル研究所)『学びを支える保育環境づくり』(小学館)他。

3日目

記念講演／9月8日 10:00～11:30

演 題

「幸せはいつも自分でつかむ」

講 師



岩崎恭子氏

「今まで生きてきた中で一番幸せです」
でおなじみの岩崎氏は、一見すると輝かしい人生を送っているように思える。しかしそこには、大半の日々を苦勞と努力に捧げてきた事実がある。本テーマでは岩崎流の幸せのつかみ方が語られる。
“幸せはいつも自分でつかむ”という彼女からのメッセージは、理想を実現したい人の心に力強く響くはず。

4. 分科会講師紹介

分科会 1

乳児期の安心感・基本的信頼感を育む保育者の専門性

テーマ — 環境構成とかかわりをふり返る評価スケールを用いて

講師



奈良教育大学幼年教育専修 准教授

佐川早季子 氏

博士(教育学)。専門は保育学。保育の質、幼児期の造形表現について研究している。訳書に「育み支え合う保育リーダーシップ—協働的な学びを生み出すために」(共訳:明石書店、2017年)がある。

概要

乳幼児期の保育・教育の量的拡大とともに質の向上が重要な課題となっています。では、具体的に何をどのようにすれば、保育・教育の質が向上し、子どもたちの豊かな育ちにつながるのでしょうか。その鍵を握るのは、日々の先生方の保育実践とそのふり返りです。この分科会では、日本の保育者の声が反映された評価スケールを手がかりに、日々の保育実践をふり返るための視点を提案します。

平成30年度より施行される保育所保育指針では、乳児保育や3歳未満児保育に関する記載が充実し、総則に「養護」というキーワードが取り上げられました。養護の大事さ、養護的環境づくりの大事さが強調され、養護と教育を一体的に展開することが改訂のポイントの一つになっています。それは、子どもたちの安心感・基本的信頼感を育てることが乳幼児期の保育・教育には不可欠であることを示しています。分科会の後半では、様々な保育現場の映像や写真をまじえて語り合うワークショップを予定しています。乳児期の安心感・基本的信頼感を育てるためには、どのような環境構成やかかわりが考えられるのか、一緒に考えていきましょう。

分科会 2

幼児期の好奇心・探究心、学びの芽生えを支え育む保育者の専門性

テーマ — 環境構成とかかわりをふり返る評価スケールを用いて

講師



東京大学大学院教育学研究科附属発達保育実践政策学センター 特任講師

淀川裕美 氏

博士(教育学)。専門は保育学。保育の質、保育者と子どもたちの言葉のやりとり、食事場面に関する研究を行っている。著書に「保育所2歳児クラスにおける集団での対話のあり方の変化」(明石書店、2015年)訳書に「「保育プロセスの質」評価スケール-乳幼児期の「ともに考え、深めつづけること」と「情緒的な安定・安心」を捉えるために」(共訳:明石書店、2016年)、「育み支え合う保育リーダーシップ—協働的な学びを生み出すために」(共訳:明石書店、2017年)。

概要

子どもが世界と出会うこと。対象とじっくりかかわり、発見し、不思議に思い、さまざまに試し、味わうこと。友だちと知恵を寄せ合い、挑戦したり、考えを深めたりすること。こうしたひとつひとつの経験を積み重ねていく中で、子ども一人ひとりが、生涯の学び手へと育っていきます。

本分科会では、そうした子どもたちの好奇心・探究心にもとづく学びの芽生えを、保育者の先生方がどのように支え、育んでおられるのか、環境構成とかかわりという2つの観点から考えてみたいと思います。分科会の後半では、日本の保育者と研究者が協働で作成した評価スケールを使って、実際の保育場面の映像や事例を通してともに考え、語らうワークショップを予定しております。

テーマ —— 主任・副主任・専門リーダーを中心に育ちあう組織へ

講師



洗足こども短期大学幼児教育保育科 准教授

井上眞理子氏

大学卒業後、最高裁判所司法研修所にて裁判所事務官として勤務。早期幼児教育教室にて講師として勤務したのち、大学院において幼児教育学を学び、その後、子どもの主体的な学び、保育者の成長プロセス、リフレクションによる保育者の学び、保育者の人材育成をテーマに研究を進める。日本保育協会研修企画委員、日本保育協会 神奈川県支部養成校との連携を考えるWGアドバイザーをつとめる。保育者養成校において、実習指導(幼稚園・保育所)、教育・保育課程論、保育内容、教職実践演習等の授業の担当。

概要

保育士不足の中、やっとな採用した職員をどう育てるか？早く組織にとって優秀な人材にするには・・・そんな課題に直面している園長先生は多いはず。

そこで鍵となるのが、日々の保育の中で現場の保育士と接する「主任保育士や中堅保育士(副主任や専門リーダーなど)」の存在ではないでしょうか。

日々の語らいの中で保育士の課題や成長を見出し、人材を人材に育てる「保育士育成」の役割を担える主任・副主任・専門リーダーの育成と、組織全体の育ちあう風土づくりに向けて「今できること」を講演・パネルディスカッション等を通して探します。

保育士の成長を保育士側とマネジメント側から研究されている洗足こども短期大学専任講師 井上眞理子氏と共に「制度やルール」ではなく「人」を中心に考えた解決策を考えてみませんか？

- テーマ ——
- 保育者の心のゆとりが、子どもの「夢」や「願い」から始まる主体的で協同的な遊び・学びを生み出す
 - 子どもと一緒に楽しみ、常に成長する保育者
 - 長期的・継続的・発展的に展開される「無から有を生み出す」プロジェクト

講師



一般社団法人 Learning Journey

堀昌浩氏／井量昭氏／坂本喜一郎氏
竹内勝哉氏／湖田秀雄氏／森本信也氏

概要

子どもは生まれながらにして学ぶ力を持っています。しかし、その子どもを支える保育者の心にゆとりを持っているのでしょうか？子どもたちが未来につながる遊びに、さまざまな大人が「協力」することで、「遊び学ぶ力」を大きく引き出し、子どもたちの生きる喜びを感じ、夢を叶えられるようになっていきたいのです。そのキーワードが保育者の「協同性」と「寛容性」このキーワードを探求する学びのデザインを一緒に考えていきましょう。

参加費 —— 7,000円(昼食付)

内容

静岡県を代表するもの、それはお茶文化であります。今企画は静岡茶の本場“牧之原”にある、グリーンピア牧之原にてお茶摘み体験や工場見学をお楽しみいただきます。ひろ～い茶園でお茶を摘む「お茶摘み体験」これは産地でもなかなかできない体験です！お茶畑に入って、お茶の樹やお茶の葉に触れて、茶園の香りもお楽しみください。尚、茶摘みの衣装レンタル(数着のみ・要予約)もあります。又、行程の中にはお茶と同じく、昼食には、静岡名物“まぐろ”を含む20種類の寿司バイキングをご賞味いただきます。半日ではありますが、中身の濃い静岡体験が可能です。

第39回 全国青年保育者会議 静岡大会 参加・分科会・宿泊・弁当 のご案内

1 参加申込のご案内

◇ 大会参加費： **30,000円 (お一人様)**

※大会参加費には、6日の情報交換会参加費を含みます。(7日の昼食、交通費は含みません。)

◇ お申込方法：大会要綱の参加申込書に必要事項をご記入の上、FAXまたは郵送にてお申込下さい。

※電話による申込・変更等はトラブルの原因となりますのでご遠慮願います。

◇ 申込先：東武トップツアーズ株式会社 静岡支店「第39回全国青年保育者会議 静岡大会」係

〒420-0859 静岡県静岡市葵区栄町3-1 あいおいニッセイ同和損保静岡第一ビル10階

TEL：054-255-1919 FAX：054-252-9509

営業時間：月曜～金曜 9:00～18:00 (土曜・日・祝日休業)

担当：木村 / 長谷川 / 中原

◇ お申込締切日：平成29年7月31日(月)

2 宿泊施設のご案内

◇ 宿泊期間：平成29年9月6日(水)～8日(金)

※大会前泊9月5日(火)・後泊9月8日(金)のご宿泊もご準備しております。

◇ 宿泊料金：お一人様 1泊朝食付 宿泊ホテルにより料金が異なりますので、下記リストの料金欄をご確認下さい。

施設名	部屋タイプ	ホテル記号	料金(1泊)	静岡駅からお所要時間	会場までの所要時間
ホテルアソシア静岡	シングル	A-1	14,000円	徒歩3分	
	ツイン	A-2	10,000円		
ホテルセンチュリー静岡	シングル	B-1	15,000円	徒歩3分	徒歩10分
	ツイン	B-2	11,000円		
静鉄ホテルプレジオ静岡駅南	シングル	C	12,000円	徒歩5分	徒歩15分
静鉄ホテルプレジオ静岡駅北	シングル	D	11,000円	徒歩5分	徒歩5分
ホテルガーデンスクエア静岡	シングル	E	10,000円	徒歩10分	徒歩10分
くれたけインプレミアム静岡駅前	シングル	F-1	10,000円	徒歩10分	徒歩5分
	ツイン	F-2	9,000円		
サンバレスホテル	シングル	G	9,000円	徒歩5分	徒歩10分
スマイルホテル	シングル	H	8,500円	徒歩15分	徒歩10分
ホテルアーバント静岡	シングル	I	8,500円	徒歩10分	徒歩5分

◇ 上記以外の施設も手配可能です。ご希望の方はお問い合わせ下さい。

3 昼食のご案内

◇ 大会2日目の昼食弁当のご案内 **1個 1,300円 (税込)**

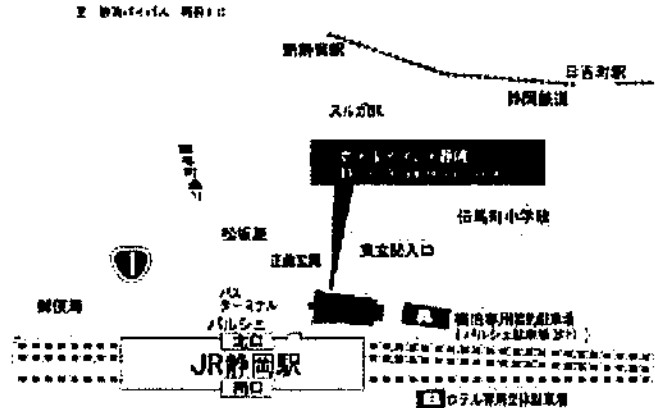
※申込書の記入方：お弁当申込の方は○を、不要の方は×を、ご記入のうえお申込み下さい。

※お弁当受取りについての詳細は、ご出発に際してのご案内時に引換券とともにご案内させていただきます。なお、当日のお申込はお受けできません。

4 大会会場 (情報交換会) のご案内、宿泊施設案内

◇ 大会会場 (情報交換会) のご案内

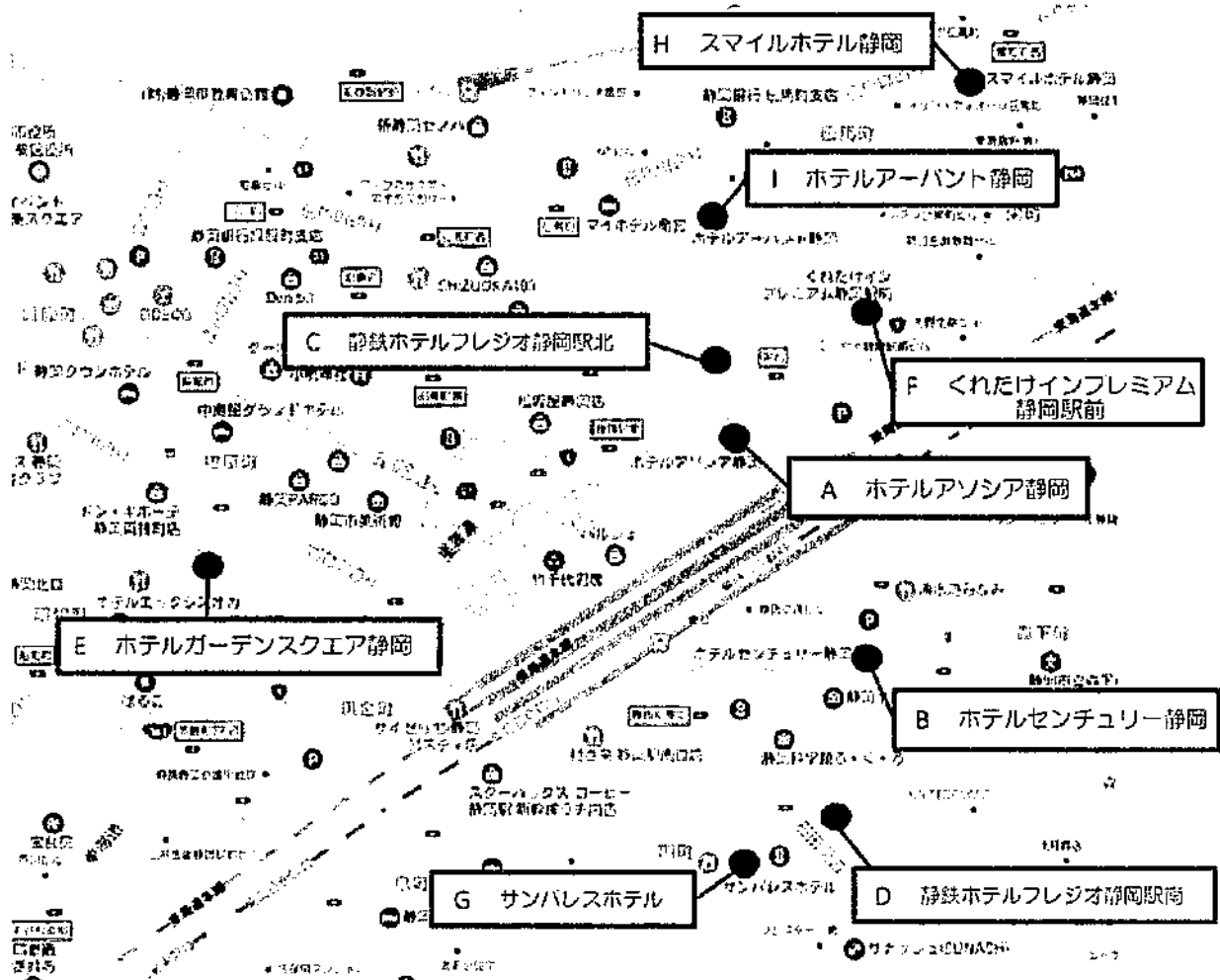
JR静岡駅 北口から徒歩1分



ホテルアソシア静岡

JR静岡駅から徒歩1分

〒420-0851 静岡県静岡市葵区黒金町56番地 TEL：(054) 254-4141 FAX：(054) 255-3721



5 お申込方法とお申込締切日

- ◇ 付属の参加申込書に必要事項をご記入頂き、東武トップツアーズ株式会社 静岡支店までFAXまたは郵送にてお申込ください。

お申込締切日 平成29年7月31日（月）

- 大会参加・分科会・宿泊・弁当の各申込の請求書並びに宿泊確認書は8月下旬にお送りさせていただきます。
- 専用振込用紙はありません。また、大会当日のご入金はご遠慮頂き、事前の振込みをお願い致します。
- 銀行振込における振込手数料は各自ご負担くださいますようお願い致します。

6 ご変更・取消料について

ご都合により、予約の変更・取消をされる場合は下記の取消料を申し受けます。

なお、変更・取消がある場合はトラブルを防ぐために必ずFAX（書面）によりご連絡をお願い致します。

取消日	8/23（水）まで		8/24（木）より	
大会参加費の取消料	無料		100%	
9/7（木）から起算	15日前まで	14日前～2日前まで	前日	当日 (または務連絡)
ご宿泊の取消料	無料	20%	50%	100%

旅行条件（要約）

□ 募集型企画旅行契約

この旅行は、東武トップツアーズ株式会社 静岡支店（以下「当社」といいます。）が企画・実施する旅行であり、この旅行に参加されるお客様は当社と募集型企画旅行契約（以下「旅行契約」といいます。）を締結することになります。旅行契約の内容、条件は、当パンフレットの記載内容および別途お渡しする旅行条件書、確定書面（クーポン類または最終日程表）ならびに当社旅行業約款募集型企画旅行契約の部によります。

□ 旅行のお申込み及び契約成立時期

所定の申込書にご記入いただき、FAXまたは郵送にてお申込下さい。旅行契約は当社が契約の締結を承諾し、申込金または旅行代金を受領したときに成立いたします。

□ 旅行代金に含まれるもの

宿泊プランに明示した宿泊料金、食事代および消費税等諸税。

□ 個人情報の取扱いについて

当社は、参加申込書に記載された個人情報について、お客様との間の連絡のために利用させていただくほか、お客様がお申込みいただいた旅行において運送・宿泊機関・保険会社などの提供するサービスの手配およびそれらのサービス受領のための手続きに必要な範囲内で利用させていただきます。

□ この旅行条件は2017年4月1日を基準としております。


旅行業務取扱管理者とはお客様の旅行を取り扱う営業所での取引の責任者です。このご旅行の契約に関し、担当者からの説明にご不明な点がございましたら、遠慮なく旅行業務取扱管理者にお尋ねください。

総合旅行業務取扱管理者／小林 淳彦

【旅行企画・実施】

 **東武トップツアーズ株式会社 静岡支店**

観光庁長官登録旅行業第38号 一般社団法人日本旅行業協会正会員 ボンド保証会員

 旅行業公正取引協議会会員

 JTB

